

検 定 意 見 書

受理番号 104-16		学校 高等学校		教科 福祉	種目 コミュニケーション技術	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	6	15	介護福祉職 (16ページ4行目) 介護職	生徒にとって理解し難い表現である。 (介護福祉職と介護職の関係)	3-(3)	
2	15	26 - 27	④社会的雑音 文化の違いや育った環境の違いから、同じ言葉でも違った意味になり、情報が正確に伝わりにくいことがある。 (15ページ調べてみよう)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (④社会的雑音, 調べてみよう)	3-(3)	
			自分の住んでいる地域でしか伝わらない言葉や習慣などを探してみよう。			
3	17	側注1	Eagan, J	誤記である。	3-(2)	
4	17	13 - 14	特に介護を必要としている高齢者や障害者には、自尊感情を持ってもらうことが必要	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (持ってもらう)	3-(3)	
5	17	18 - 21	そして、ラポールを形成することで自己理解、他者理解が得られ、その結果、職場に対しても愛着がわき、働く意欲がわいてくる。それが利用者への接し方にも影響し、さらにラポールが形	生徒にとって理解し難い表現である。 (誰との間のラポールの形成なのか不明確であり、働く意欲等との関係も理解し難い。)	3-(3)	
			成されやすくなる。			
6	25	18	…相手の考え・感情と自分の考え・感情を分けて考える	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「相手の考え」と「感情と自分の考え」と「感情」と誤解する。)	3-(3)	
7	28	囲み	④受け止める [受容]	生徒にとって理解し難い表現である。 (何をどのように受け止めるのか理解し難い。)	3-(3)	
8	37	21 - 22	信頼関係が深まった結果として、アドバイスに耳を傾けてくれるようになる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (信頼関係が深まった結果)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-16		学校 高等学校		教科 福祉	種目 コミュニケーション技術	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
9	39	22 - 27	たとえば、利用者が落ち込んでいる時、「やる気がない」…。同じ状況でも、「落ち込んだ気持ちを修復している」…きっかけになる。 (39ページ図7)	生徒にとって理解し難い表現である。 (本文と図が一致しておらず、理解し難い。)	3-(3)	
10	46	図1	相手の心をつかむには	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (心をつかむ)	3-(3)	
11	49	5 - 6	利用者と家族が介護職と初めて出会う時で、福祉の場面ではインテークと呼ばれる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (初めて出会う時)	3-(3)	
12	52	側注1	…介護職は指導する立場になる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (介護職は指導のみをする立場と誤解する恐れがある。)	3-(3)	
13	58	側注1	…2015年の593万世帯から、2040年には896万世帯と2倍以上に増加すると…	誤りである。	3-(1)	
14	58	11 - 12	また、思考力の低下などから気分もふさがちになり、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (一人暮らし高齢者は、思考力の低下があると誤解する。)	3-(3)	
15	60	側注3	…があるものであつて	不正確である。 (もの)	3-(1)	
16	66	図6	①盲導犬は仕事中はからだに白い胴輪(ハーネス)を必ずつけている。 (67ページ14～15行目) 盲導犬は、ハーネスという白または黄色の胴輪と持ち手を装着し	表記が不統一である。 (ハーネスの色)	3-(4)	
17	67	9	点字ブロック② (14行目) 盲導犬①	誤植である。	3-(2)	
18	72	図1	中耳, 内耳	生徒にとって理解し難い図である。 (中耳と内耳の区別が理解しがたい。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-16		学校 高等学校		教科 福祉	種目 コミュニケーション技術	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	74	5	障害者総合支援法	生徒にとって理解し難い表現である。 (障害者総合支援法)	3-(3)	
20	74	10 - 13	難聴の程度には軽度難聴…重度難聴： 90dB以上となる。 (表1)	生徒にとって理解し難い表現，表である。 (記述と表の程度区分が一致していないため，理解し難い)	3-(3)	
21	80	15 - 16	失語症では「聞く」「話す」「読む」「書く」のすべてに支障が生じる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (失語症の症状としてすべてに支障が生じると誤解する。)	3-(3)	
22	88	側注 2	代理権与えることである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (必ず代理権を与えるものと誤解する)	3-(3)	
23	88	15 - 17	厚生労働省「生活のしづらさなどに関する調査」(2016年)によると，療育手帳の所持者は96.2万人であり…その他が55.5万人と推計されている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (療育手帳所持者の総数)	3-(3)	
24	88	22 - 24	通常学級と特別支援学級のどちらで勉強するかを選択することになる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (通常学級と特別支援学級の二択であると誤解する。)	3-(3)	
25	88	24	生活自立のニーズ	生徒にとって理解し難い表現である。 (具体的な内容がわかりにくい。)	3-(3)	
26	89	図 1	障害者基礎年金	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
27	89	11	支援者はどうしたいかをたずねるのではなく	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (たずねるのではなく)	3-(3)	
28	92	13 - 14	それまでは支援の対象とみなされていなかった。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (支援が行われていなかったと誤解する。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-16		学校 高等学校		教科 福祉	種目 コミュニケーション技術	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
29	93	12 - 13	3歳までに何らかの症状が見られる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
30	93	14 - 15	外界の刺激に敏感に反応する場合、ひとりになれるスペースを確保することやイヤーマフを装着することが有効である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (装着することが有効である。)	3-(3)	
31	93	18 - 19	コミュニケーションにおいては…有効である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (有効である。)	3-(3)	
32	94	7 - 9	このようなケースでは…有効となる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (有効となる。)	3-(3)	
33	94	23 - 25	たとえば、廊下を全力で走ってしまう場合、他者と衝突するリスクなどを避けるため、スリッパを履いてもらうなどの対応が有効である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (スリッパを履くことによる影響に触れられておらず、安全面に配慮した対応について理解し難い。)	3-(3)	
34	100	10 - 11	ノーマラゼーション	誤記である。	3-(2)	
35	118	15 - 17	フェイスシートは名称のとおり、記載されている人の「顔」であり、	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
36	121	図6	全体	生徒にとって理解し難い表現である。 (記号の説明が不十分である。)	3-(3)	
37	123	3	5W1Hで記録する。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (必ず5W1Hで記録しないといけないと誤解する。)	3-(3)	
38	裏見返 ④		指文字のイラスト：「を」「ん」	生徒にとって理解し難い図である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-17		学校 高等学校		教科 福祉	種目 介護過程	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	表見返 1	3 - 6	昭和元年～19年（戦争時代） …ラジオ放送が始まる	誤りである。 （ラジオ放送が始まる）	3-(1)	
2	8	脚注①	その業務の適性をはかり	誤記である。 （適性）	3-(2)	
3	8	27 - 28	いわゆる「医療的ケア」が介護福祉士の業務に法として位置づけられたことになる。 （9ページ2行目、4行目、9行目） 医療的ケア	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （医療的ケア）	3-(3)	
4	12	12 - 13	おむつの使用が常態化することになりかねない。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （おむつの使用に対して誤解する。）	3-(3)	
5	13	5 - 23	根拠にもとづいた介護実践はケアマネジメントによって行われる。介護保険制度では…。そのケアプランにもとづいて…計画的なサービスを行う。…連動して存在するものであるということ	生徒にとって理解し難い表現、図である。 （ケアマネジメントとケアプラン、介護計画の関係について）	3-(3)	
			を理解しておく必要がある。 （13ページ図1全体）			
6	15		〈考えてみよう〉 介護過程の考え方の演習の全体	生徒にとって理解し難い表現である。 （タイトル「介護過程の考え方の演習」と演習の内容の関係が理解し難い。）	3-(3)	
7	16	4 - 6	介護過程は、介護を必要とする人の生活課題を明確にし…一連の思考過程である。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （思考過程だけが介護過程であると誤解する。）	3-(3)	
8	22	側注 1	ニーズ（needs）はneed（ニード）の複数形。「必要、要求」と訳される。	生徒にとって理解し難い表現である。 （用語の説明として理解し難い。）	3-(3)	
9	35	7 - 9	第一欲求である「生理的欲求」が満たされるとより高次の欲求が動機づけられるといったものである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （第一欲求である「生理的欲求」が満たされると）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-17		学校 高等学校		教科 福祉	種目 介護過程	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
10	35	表1	ここでは、「安全の欲求」と「自己実現の欲求」を比較し、「安全の欲求」のほうが優先されると判断した。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (マズローの欲求の5段階説で判断していると誤解する。)	3-(3)	
11	37	14 - 17	認知症高齢者の日常生活自立度 IIIa 障害高齢者の日常生活自立度 A1	生徒にとって理解し難い表現である。 (自立度の説明がなく理解し難い。)	3-(3)	
12	43	囲み右 10行	図形の下に年齢を記載するとわかりやすい。 <やってみよう> 図全体	生徒にとって理解し難い表現、図である。 (記述と図の表記が一致しない。)	3-(3)	
13	46	2 - 3	多職種連携をはかることがある。① (6行目) 協働①することが求められる。 <側注①> 協働の意味は…大切である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (多職種連携について、理解し難い。)	3-(3)	
			<46ページ図3全体>			
14	65	14 - 15	予測する力とは、利用者に起こる状況を導き出す力である。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「起こる」という表現が理解し難い。)	3-(3)	
15	66	図1	アウトカム 利用者とかかわることで出てきた反応	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (アウトカムの意味を誤解する。)	3-(3)	
16	70	側注1	介護老人保健施設に係る規定を記した「指定介護老人福祉施設の人員、設備及び運営に関する基準」では、第37条に…定めている。	誤りである。 (根拠基準)	3-(1)	
17	72	側注1	介護保険制度では、ケアプランを作成した後に評価を行うことをモニタリングという。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (介護保険制度では、ケアプランを作成した後に評価を行う。)	3-(3)	
18	107	表1	チームの主な専門職	生徒にとって理解し難い表である。 (相談員)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 104-17		学校 高等学校		教科 福祉	種目 介護過程	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
19	114	図1	図1全体 (115ページ図2)	生徒にとって理解し難い表現，図である。 (図1と図2の専門職が一致しておらず，理解し難い。)	3-(3)	
20	118	囲み	意向：Tさんは「自分のことは自分で 行い，息子の世話をしたい」	生徒にとって理解し難い表現である。 (息子の世話をしたい)	3-(3)	
21	119	11 - 15	小規模多機能型居宅介護を紹介して， ケアプラン（介護予防サービス計画） の原案を作成した。…息子が参加して デイサービス，訪問介護などの支援内 容を検討した。	生徒にとって理解し難い表現，図である。 (小規模多機能型居宅介護とデイサービス、訪問介 護、ショートステイが混在しており，理解し難い。)	3-(3)	
			<119ページ側注⑤，図1> <120ページ2行目、4～5行目、10行目 > <121ページ図2>			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。